

PwC 非財務情報開示セミナー 2018

マルチステークホルダーから投資家向けレポートへ ～Non-financialからPre-financialへ～



時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また平素よりご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

近年、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) やパリ協定など、持続可能な社会の構築におけるグローバル企業に対する期待はますます高まっており、長期的な社会の変革の中で、グローバル企業にはコーポレートサステナビリティのアプローチを取ることが求められています。

また年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) によるESG投資の拡大や、金融安定理事会による気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) による提言など、非財務情報開示を通じて企業と投資家とのコミュニケーションがさらに深まることで、中長期的なリスクの低減や超過収益の獲得などの効果が得られると期待されています。一方、マルチステークホルダーを対象として発展してきた企業の非財務情報開示の在り方も新たな局面を迎えつつあります。

こうした状況のもと、このたび私どもPwCあらた有限責任監査法人では、「PwC 非財務情報開示セミナー 2018 マルチステークホルダーから投資家向けレポートへ～Non-financialからPre-financialへ～」を開催します。本セミナーでは、サステナビリティ日本フォーラム 代表理事 後藤 敏彦氏をお迎えし、日本企業の情報開示の現状についてご説明いただきます。また米国サステナビリティ会計基準審議会 (SASB) 戦略アドバイザー Katie Schmitz Eulitt氏より投資家に向けた財務的に重要なESG情報の開示について解説いただくとともに、金融庁 国際室長 池田賢志氏よりTCFDに対する政府としての立ち位置および日本企業の非財務情報に対する期待についてご講演いただきます。

本セミナーが非財務情報開示の進化を通じたコーポレートサステナビリティの推進の一翼を担えましたら幸いです。ご多忙中とは存じますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

PwCあらた有限責任監査法人
執行役 リスク・デジタル・アシュアランス担当
兼 サステナビリティサービス リーダー
丸山 琢永

開催概要

- 日時: 2018年10月30日 (火) 13:30～16:45 (13:00開場)
- 場所: PwCあらた有限責任監査法人 セミナールーム
東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング15F
- 主催: PwCあらた有限責任監査法人
- 定員: 100名
※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
※1社より複数名お申し込みの際には、最大2名様までのご参加とさせていただきます。
- 対象: 企業の経営企画、サステナビリティ、IR関連部署
※同業種方からのお申し込みはお断りします。
- 言語: 日本語、英語 (同時通訳あり)
- 費用: 無料 (事前登録制)
- プログラム: 裏面をご参照ください
- お申し込み: 以下ウェブサイトよりお申し込み下さい。
<https://krs.bz/pwc/m/esg1030>
- お問い合わせ: PwCあらた有限責任監査法人 担当: 白川・小林
Tel: 03-3841-4104 E-mail: pwc.seminar.mailbox@jp.pwc.com

■個人情報の取り扱いについて

お申し込みの際にご記入いただきました個人情報は、PwCあらた有限責任監査法人の個人情報保護方針に従って適切に管理いたします。
詳細の取り扱いについては、PwCあらた有限責任監査法人のウェブサイトの個人情報保護方針
(<https://www.pwc.com/jp/ja/sitemap/privacy/assurance.html>) をご覧ください。

PwC 非財務情報開示セミナー 2018

マルチステークホルダーから投資家向けレポートへ ～Non-financialからPre-financialへ～

時間	プログラム	講演者
13:30 - 13:35	開会挨拶	PwCあらた有限責任監査法人 サステナビリティサービス エグゼクティブアドバイザー 三橋 優隆
13:35 - 14:00	【基調講演】 非財務情報開示における日本の現状	特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム 代表理事 後藤 敏彦 氏
14:00 - 14:45	【講演1】 SASBスタンダードの現状と今後の進展 ～投資家に向けた財務的に重要なESG課題の開示スタンダード	サステナビリティ会計基準審議会 (SASB) 戦略アドバイザー Katie Schmitz Eulitt 氏
14:45 - 15:15	【講演2】 気候関連財務情報タスクフォース(TCFD)と日本企業への期待	金融庁 総合政策局 総務課 国際室 室長 池田 賢志 氏
15:15 - 15:30	休憩	
15:30 - 16:00	【講演3】 日本企業の非財務情報開示の現状と課題 ～PwCの調査結果より	PwCあらた有限責任監査法人 サステナビリティサービス ディレクター 田原 英俊
16:00 - 16:05	休憩	
16:05 - 16:45	【パネルディスカッション】 「Non-FinancialレポートからPre-Financialレポートへの 移行に向けて、企業には何が期待されるか」	モデレーター：田原 英俊 パネリスト： 後藤 敏彦 氏 Katie Schmitz Eulitt 氏 池田 賢志 氏 三橋 優隆

※プログラム内容、講演者については変更となる場合がございます。

講演者のプロフィール



後藤 敏彦 氏

サステナビリティ日本フォーラム代表理事。環境監査研究会代表幹事、認定NPO環境経営学会会長、NPO日本サステナブル投資フォーラム理事・最高顧問、(一社)グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン理事、(一社)グリーンファイナンス推進機構理事、NPOアースウォッチジャパン理事、(一社)環境パートナーシップ会議理事、地球システム・倫理学会常任理事、サステナビリティ・コミュニケーションネットワーク代表幹事、など。
東京大学法学部卒業。著書に「環境監査入門」(共著)ほか、講演多数。



Katie Schmitz Eulitt 氏

SASB戦略アドバイザー。創成期よりSASBに関わる。現在はCapital Markets Policy and Outreachチームで投資判断へのSASB基準の活用を推進し、投資家向けESG情報の品質向上をめざすSASB Investor Advisory Groupを共同で運営する。また投資銀行、石油・ガス、独立系発電事業者、再生エネルギー、浄水、その他のクリーン技術など幅広い業界に対し、環境/社会課題の解決と機会創出のためのソリューションを提供している。カリフォルニア大学バークレー校で日本語のBA、INSEADでMBA、Presidio Graduate SchoolでサステナビリティのExecutive Certificateを取得。



池田 賢志 氏

金融庁国際室長。2016年7月より現職にて、G20/G7やFSB等の国際的な事項を幅広く所掌する中で、気候変動関連の財務情報開示に係るTCFD提言の日本における実施も担当。同時に、本年1月以降は、庁内のSDGs取組戦略プロジェクトチームの事務局をリードしている。現職就任前の4年間は、監督局に在籍し、国内の主要な銀行の監督等の業務に従事。金融庁では、バーゼル銀行監督委員会におけるバーゼル3を巡る国際交渉などを経験。